



e-La Voz
「エー・ラ・ボス」と読みます

HCJB『アンデスの声』
日本語放送
メールマガジン
(第40号)

2006年5月5日発行

6月にはHCJB日本語放送が オーストラリアから飛んできます！

シカゴは春たけなわ。やわらかな季節感をよび起こされた木々が青芽をふき、若葉をつけた並木の緑がもえるような枝をかざし、庭先では、チューリップ、ツツジ、タンポポなどが色とりどりに輝いています。

その春風に乗って、HCJBアジア太平洋地域責任者のデニス・アダムス氏から日本語放送再開を告げるうれしい便りが舞い込みました。

「エクアドルから百キロワット送信機が到着し、このほどオーストラリア大陸北東部クヌラ送信所に無事設置することができました。テスト送信を5月中旬に実施して6月には日本語放送をはじめる予定です。待ちわびているリスナーのみなさまのために、これ以上遅らせないようにします。南米エクアドルから75年間つづいたHCJB英語放送が5月で終了することになったため、日本語放送と同じように一部の番組をオーストラリア局から放送します。キト市郊外のピフォ送信所は新国際空港建設のために敷地110エーカーにはりめぐらされたアンテナ群も姿を消します。このような状況のなかでオーストラリア政府が長年保留していたHCJB短波放送を許可したことは不思議なタイミングです。HCJBオーストラリア局の未来は大きくひらかされました。」

42年前に南米大陸から放送開始した「アンデスの声」は2000年大晦日でいったん終了しましたが、ぐるりと太平洋を半周したオーストラリア大陸からふたたび HCJB日本語番組が短波できかれることになります。毎週土曜日と日曜日の朝、毎回30分間の放送です。番組内容としては、土曜日は、聴取者とのふれあいを中心とした番組をもりこみ、日曜日は、東京淀橋教会(HCJBワールド・オフィス)の自主制作番組です。機会あるごとに特集番組も企画したいとおもっていますので、番組に対するご意見、ご希望などをどうぞお寄せください。

8月には、アダムス夫妻をむかえHCJBワールド・オフィスが東京淀橋教会で正式に発足します。それを機会に教会の番組制作スタッフとの打ち合わせや、聴取者訪問の番組取材のために、私も一時帰国することになりました。全国をかけまわって取材録音しますので、よろしくご協力のほどをお願いいたします。なお、私たちの訪日の日程や連絡先については決定次第お知らせ致します。

HCJB日本語放送(オーストラリア送信)：

放送開始日： 6月3日（土曜日）
放送時間： 日本時間 0730 - 0800 (2230 - 2300UTC)
送信周波数： 15525 kHz
受信報告書の宛先： 〒169-0073
東京都新宿区百人町1-17-8
淀橋教会H C J B 係
(※返信用日本切手を同封して下さい)

在住 尾崎一夫 久子

【ホームページのご案内】

HCJB日本語放送のホームページ(<http://japanese.hcjb.org/>)には、リスナー・コミュニケーションのためのふれあいコーナー「フォーラム」(<http://japanese.hcjb.org/forums/>)と、メールマガジンのバックナンバーを揃えた「メールマガジン e-La Voz らいぶらり」(<http://www.hcjb.org/japanese/mmz/>)のページがあります。どうぞご利用ください。

このメールマガジンは、HCJB日本語放送の管理するメール・リストに登録されている方に無料でお送りしています。このメールマガジンをご覧になってのご感想やご意見、ご要望などは、HCJB日本語放送までお送りください。
また、このメールマガジンの配信停止、配信先変更、あるいは新規ご登録もHCJB日本語放送までメールにてお知らせください。なお、メール・リストは配信先メール・アドレスのみで管理されていますので、配信先変更をご希望の場合には、現在登録されている配信先も併せてお知らせください。

Copyright © 2006 by HCJB. All rights reserved.



日本語ホームページ: <http://japanese.hcjb.org/>

Eメール: 碩雹 kozaki@hcjb.org

郵便の宛先:

Mr. & Mrs. Kazuo Ozaki

1920 Berkshire Pl., Wheaton, IL 60187-8050, U. S. A.
